

& and factory

3Q 2021

Financial Results



Something Newを生み出す

日常に&を届ける

というMissionのもと、
常に新しい領域への挑戦を推進し、
人々の生活を豊かにする
サービスを提供してまいります。



& AND COMICS

マンガはクールジャパン文化の1つとして国内外から注目されています。出版社など大手のコンテンツホルダーと二人三脚で、アプリ時代における新たなマンガ文化を築いています。



株式会社 スクウェア・エニックス



株式会社 白泉社



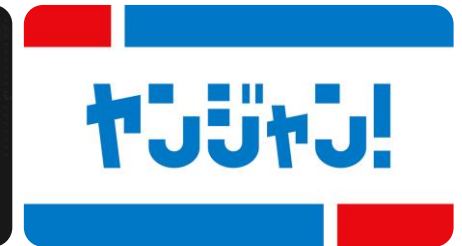
株式会社 集英社



株式会社 小学館



株式会社 日本文芸社



株式会社 集英社



株式会社 アムタス

& AND APPS

FFBE公式サポートアプリの「FFBEデジタルアルティマニア」、相談者にマッチする占いが見つけやすい占いアプリ「uraraca」を開発・配信し、スマートフォンを介して日々のちょっとした息抜きや熱狂的興奮をお届けしています。



FFBE公式サポートアプリ「FFBEデジタルアルティマニア」



占いアプリ「uraraca」

& AND & HOSTEL

最先端のIoTデバイスを集結させた近未来の宿泊施設です。部屋自体がエンターテインメント空間であり、IoTデバイスの利用状況を収集・分析するマーケティングプレイスとしても活用しています。



Index

1. IoT事業構造改革及び
2021年8月期業績予想の修正
2. 2021年8月期3Q 業績ハイライト
3. APP事業
4. IoT事業
5. Appendix



1. IoT事業構造改革及び 2021年8月期業績予想の修正



&。IoT事業における事業構造改革 – 抜本的な収益構造の改善を見込む

IoT事業における構造改革を遂行。2021年8月期において特別損失を計上
来期以降の営業利益に対しては約1.8億円から2.2億円の改善効果を見込む

&AND HOSTEL事業

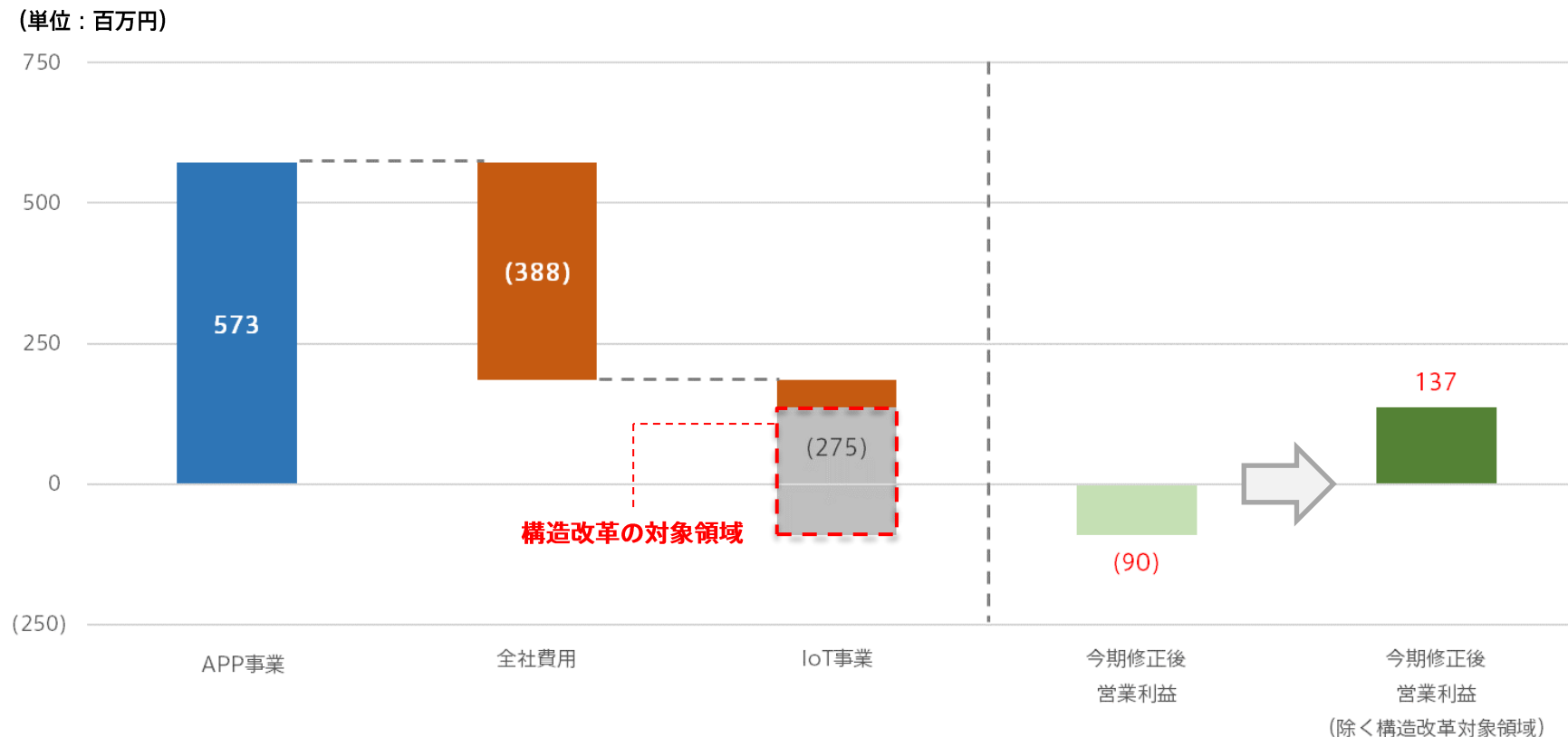
- &AND HOSTELの一部店舗にて契約見直しを実施
- 2021年8月期に約2.4億円を特別損失として計上
- 赤字店舗における賃料等の固定費削減により、
2022年8月期以降の単年度営業利益に対して
1.0億円 – 1.2億円の改善インパクトを見込む

その他IoT事業（宿泊・賃貸不動産領域）

- 当社が目指す事業の方向性や資本の最適なアロケーションという観点から、tabii、innto、totonoは
いずれもサービスの継続を前提に事業売却
- 2022年8月期以降の単年度営業利益に対して
7,500万円 – 9,500万円の改善インパクトを見込む

&。 今期の営業利益予想（修正予想）（6/25日開示資料から再掲）

- 修正後の今期営業利益の着地見込みは約9,000万円の赤字（期初計画比：約-6,200万円）
- 構造改革に伴う一時費用の計上や対象事業の売上剥落が主因
- 営業赤字となっていた事業領域の剥落により、来期以降の営業利益は回復を想定
- なお、構造改革の対象領域を除く全社営業利益は約1.4億円の黒字



&。集英社・白泉社から総額4億円の借入を実施（6/25日開示資料から再掲）

- 集英社及び白泉社より**総額4億円（集英社：3.5億円、白泉社5,000万円）**の借入を実施
- 当社として強みを有するマンガアプリ事業において、成長戦略の柔軟性を確保する
- より強固な財務基盤をもとに、両社との協業体制を一層強化し、既存のサービスに捉われない新たな取り組み創出を目指す



&。IoT事業における事業構造改革の進捗

6/15

「IoT事業の事業構造改革実施における基本方針に関するお知らせ」

- ・ 抜本的な収益構造の改善に向けた構造改革の基本方針を公表

6/25

「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」

「借入に関するお知らせ」

- ・ 構造改革に伴う今期業績への影響及び来期の収益改善見込みについて公表
- ・ 集英社・白泉社からの借入を公表。財務健全性を維持するとともに両社との協業体制を一層強化

7/15

「事業譲渡に関するお知らせ」

- ・ 事業売却につき、譲渡契約締結を決議

8/31

IoT事業の事業構造改革に一定の目途が立つ

- ・ 事業譲渡を実行予定（クロージング）
- ・ &AND HOSTELの契約見直しに伴う違約金等支払も完了見込み

来期以降の営業利益の安定的な黒字化と更なる成長加速を目指す

& 2021年8月期修正計画

- IoT事業の見直し及び直近までの業績進捗を業績予想に反映
- IoT事業において一部サービスの事業譲渡に伴う当社帰属収益の剥落を織り込む
- 特別損失として①&AND HOSTEL事業における構造改革費用、②ソフトウェア減損等を織り込む
- 来期以降の営業利益水準に関しては安定的な黒字化を見込む

単位：百万円	2020年8月期	2021年8月期				
	実績	期初計画	修正計画	増減額	前年同期増減額	成長率
売上高	2,946	3,540	3,050	-490	+103	4%
営業損失	-202	-27	-90	-62	+112	—
経常損失	-259	-177	-253	-76	+6	—
当期純損失	-362	-182	-540	-357※	-177	—

※構造改革にかかる特別損失が主因

2. 2021年8月期3Q 業績ハイライト



売上高
(3Q累計)

2,247 百万円
(YoY横ばい)

営業利益
(3Q累計)

-136 百万円
(YoY-90百万円)

APP事業

- 四半期ベースの営業利益は過去最高となる着地
- マンガアプリにおいて効率的に広告宣伝費を投下したことが奏功し利益率が改善
- 広告宣伝費の期初計画予算：12億円（通期累計）からは下ぶれて着地する見込み
- 3Q累計での売上高はYoY+8%で増加
- 一時的な開発受託が発生していた前期と比較しても成長トレンドを維持

IoT事業

- 6/15及び6/25にIoT事業における構造改革を発表
- 今期は特別損失を中心に赤字計上となるも、来期費用は大幅な削減が見込まれる

&。 2021年8月期3Q 業績ハイライト

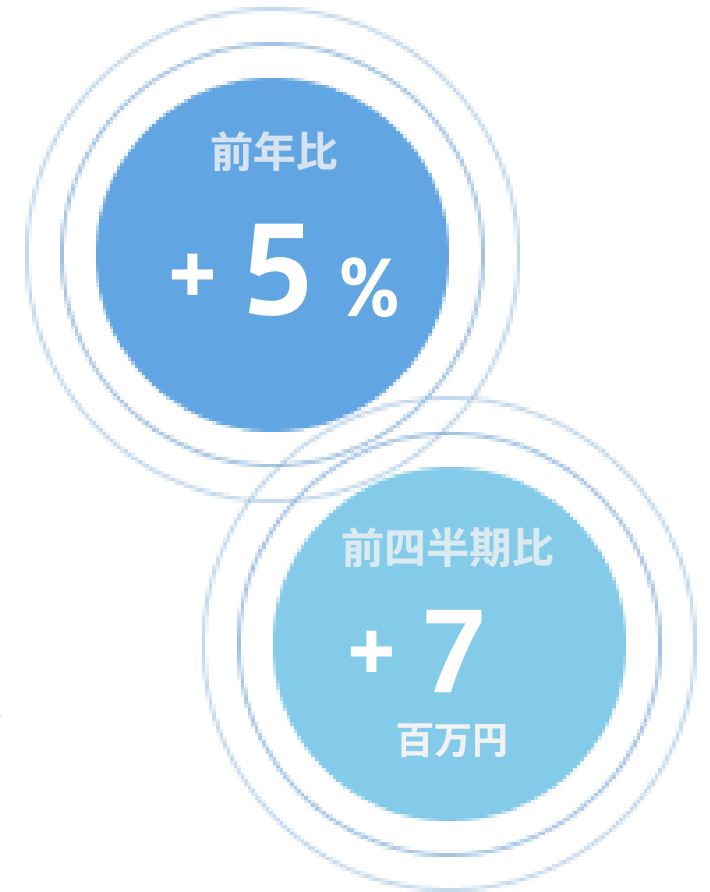
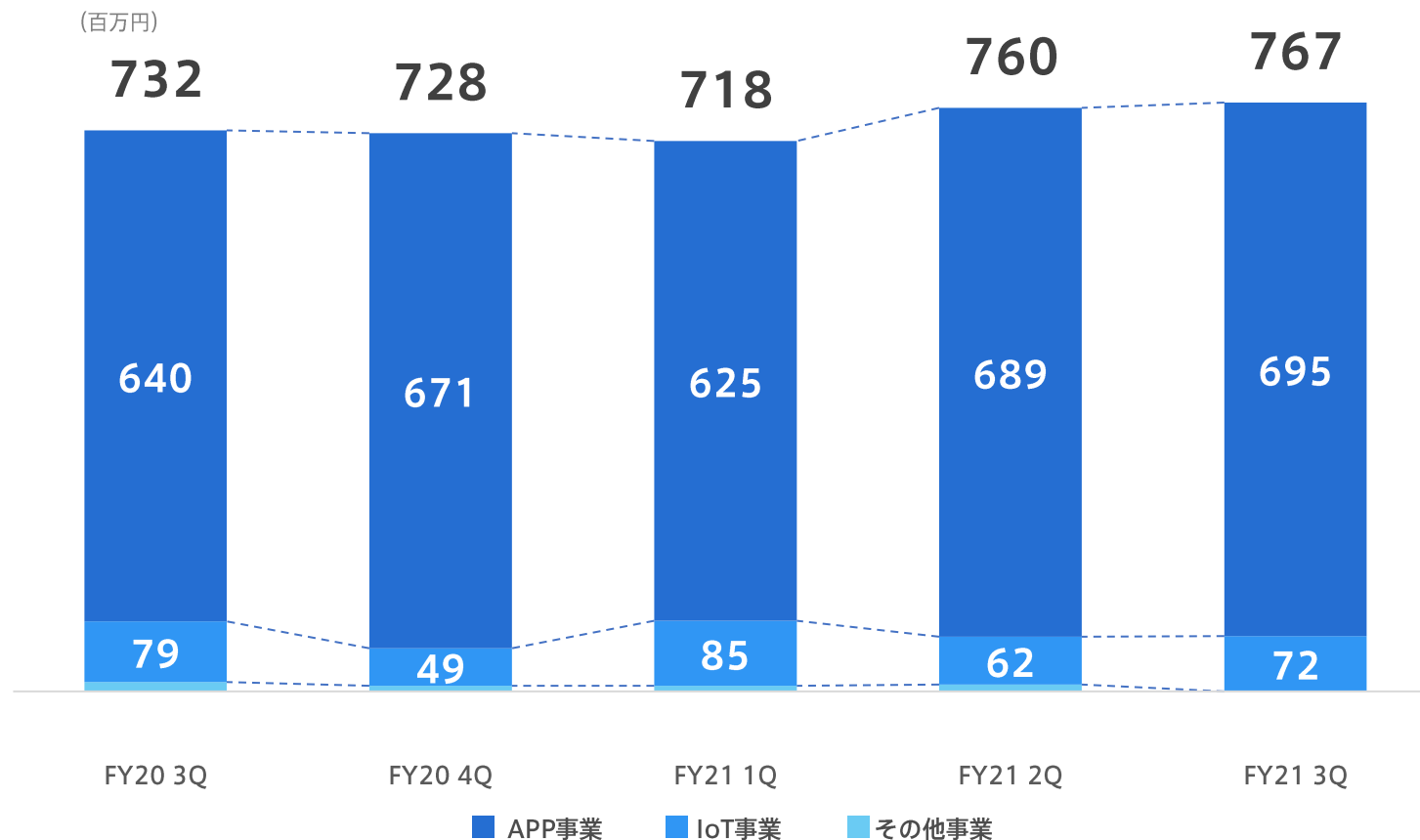
	FY21 3Q累計 (9カ月)		
	全社合計	APP事業	IoT事業
売上高 (YoY)	2,247 百万円 横ばい	2,027 百万円 +8%	220 百万円 -23%
営業利益 (YoY)	-136 百万円 -90 百万円	355 百万円 +10%	-204 百万円 -92 百万円

	FY21 3Q (3カ月)		
	全社合計	APP事業	IoT事業
売上高 (QoQ)	767 百万円 横ばい	695 百万円 横ばい	72 百万円 +17%
営業利益 (QoQ)	71 百万円 +148 百万円	210 百万円 +130%	-55 百万円 +23 百万円

※第3四半期会計期間より、「Smartphone APP事業」の事業領域を見直し、Smartphoneに限定しない幅広いAPPサービスの提供を行うための組織変更を行いました。これに伴い、従来の「Smartphone APP事業」は「APP事業」にセグメント名称を変更しております。

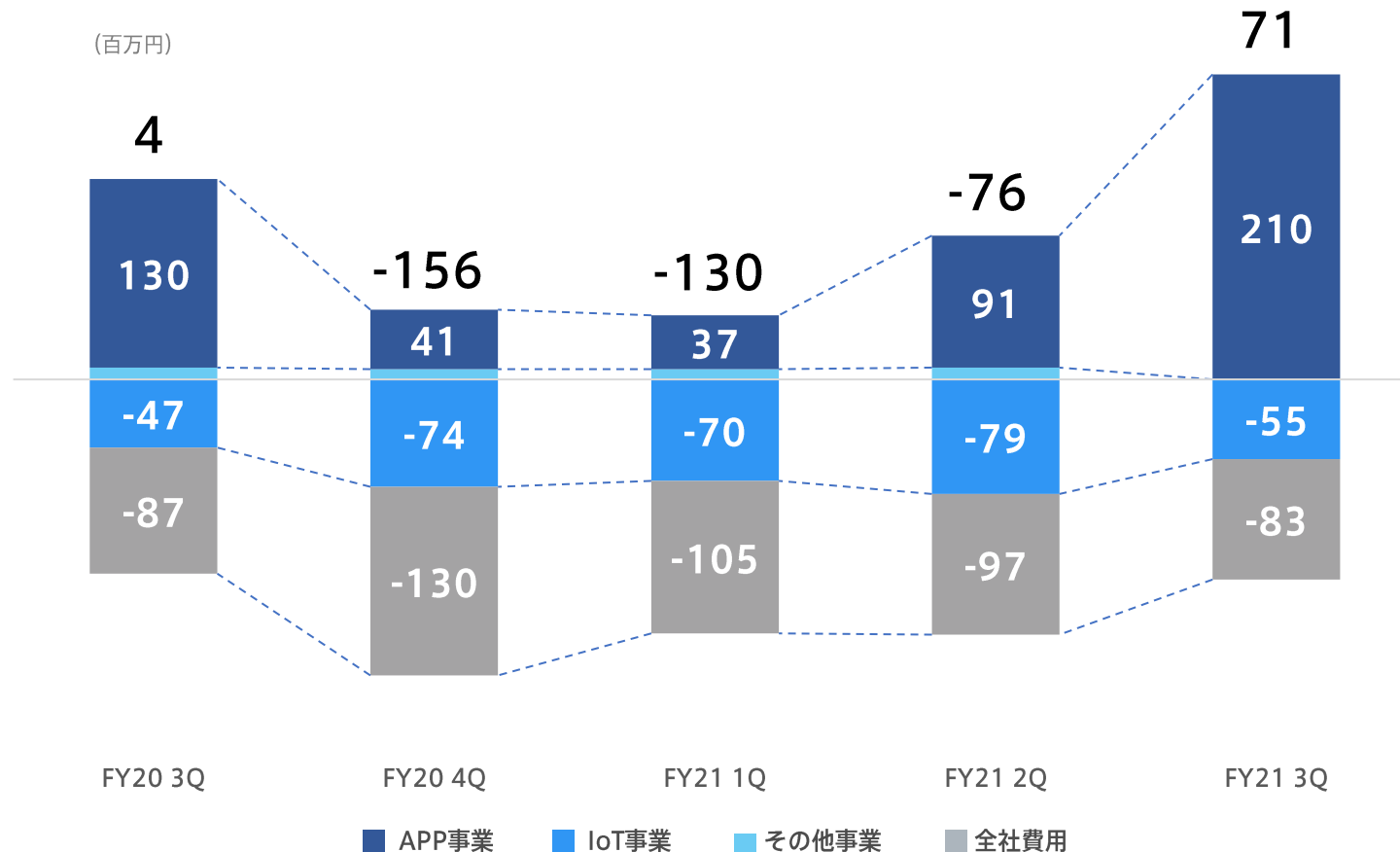
&。売上高の推移

- 前期2Qから引き続きマンガアプリ事業が堅調に推移
- &AND HOSTELにおいては首都圏を中心に稼働率が回復傾向
- その他のIoT事業においては、構造改革を見据えた事前準備により売上高の進捗が低位に留まった



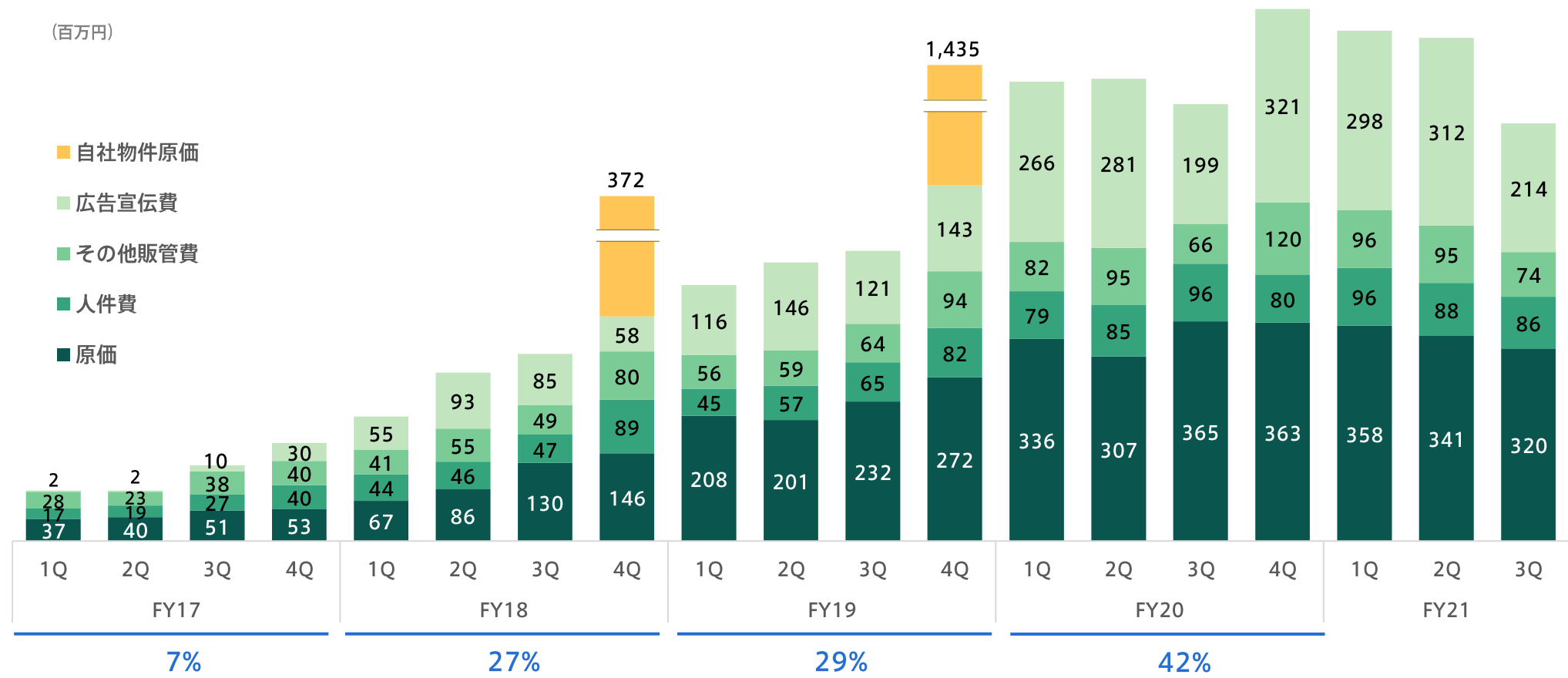
&。営業利益（セグメント利益）の推移

- 四半期ベースでは赤字から黒字に転換
- マンガアプリにおける広告宣伝費の効率的な投下により利益率が改善
- オフィス移転の完了に伴い地代家賃がQoQで減少（全社費用の減少）



& コスト推移

- 3Qの広告宣伝費はYoY+8%増加しているが、予算対比では下振れ
- 4Qでは株主優待に関する引当金計上が予定されるため、四半期ベースではその他販管費が増加見込み
- 構造改革により&AND HOSTEL事業に紐づく原価及び人件費が来期以降減少見込み
- より当社が強みを有する事業や新規事業の創出に経営資源を集中



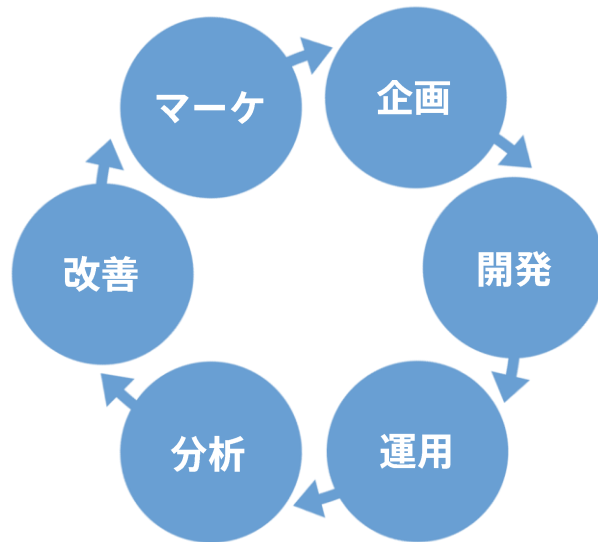
広告宣伝費率
 (対APP事業売上高)

2. APP事業



&。当社マンガアプリの特徴

運用力での差別化



- アプリ毎にチームを組成
- 企画開発から運用、マーケティングまでワンストップサービスを提供
- アプリグロース体制の確立と圧倒的な実績

コンテンツ力での差別化

SQUARE ENIX.



小学館
SHOGAKUKAN



白泉社
HAKUSENSHA



集英社



日本文芸社
NIPPONBUNGEISHA

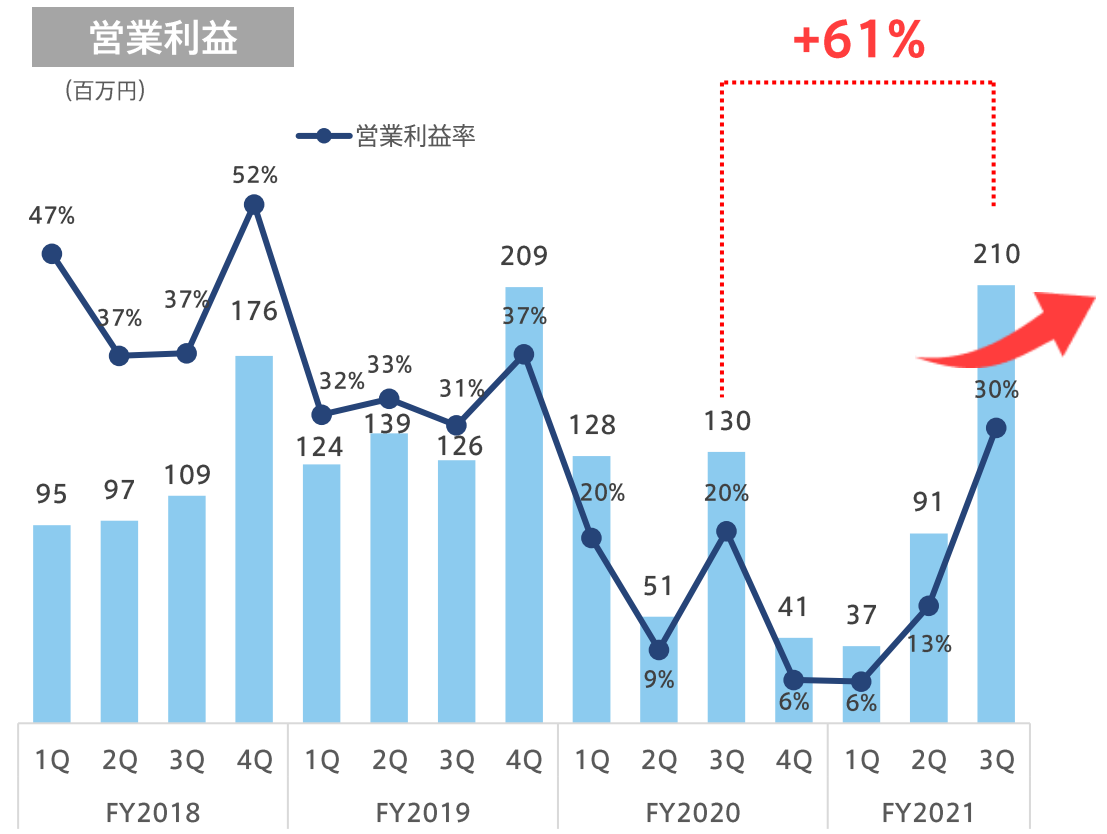
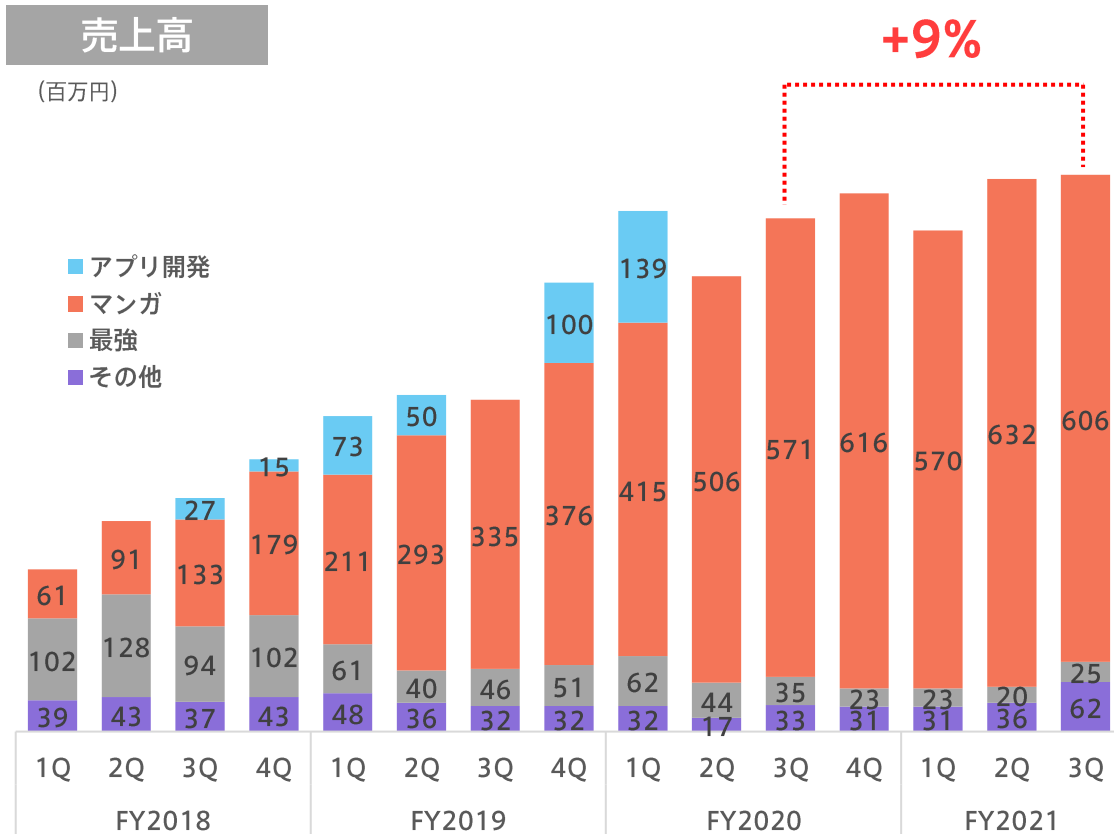


※単行本未収録の他のアプリで読めない作品が読める

- 出版社独自のブランドを確立
- 弊社提供アプリでしか読めない出版社オリジナルタイトルを多数提供

&。売上高/営業利益推移（四半期）

- **四半期ベースでは過去最高営業利益を達成**
- 広告宣伝費を効率的に投下したことにより、利益率は改善傾向にあり営業利益は第3四半期会計期間比較ではYoY+61%で着地
- 海賊版サイトの影響は一定程度認められるものの、開発売上があった前期比較でも増加基調を維持



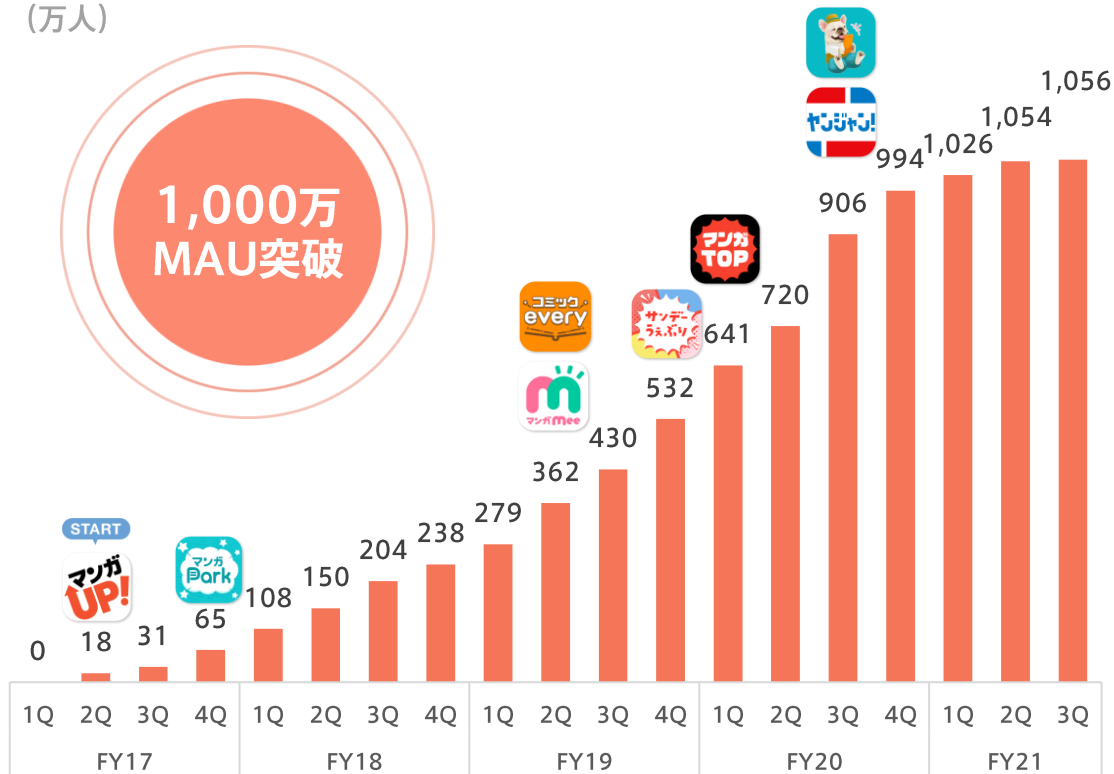
※アプリ開発は、初期開発に関する制作費等

マンガアプリKPIの推移

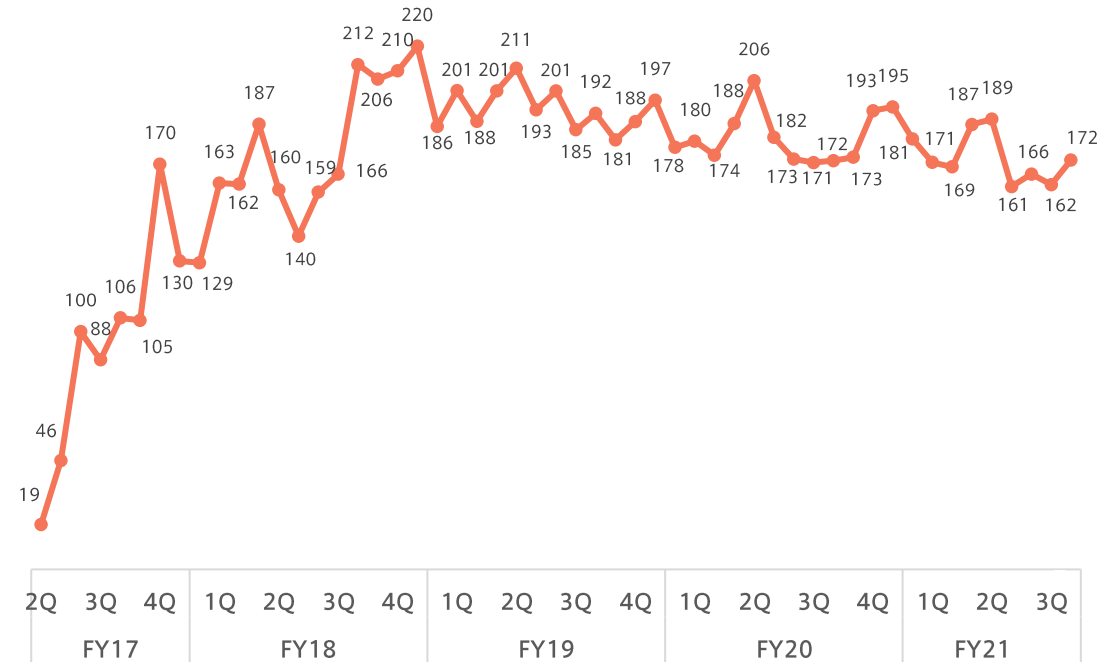
- MAUは横ばい推移だが離脱率が下がり継続ユーザーが増加
- ARPU全体では前年並みで推移
- コミックeveryが3月にサービス終了しており3Qからは剥落しているが、合算でのMAUは微増を維持

マンガアプリのMAU

(万人)



マンガアプリのARPU (指数化)

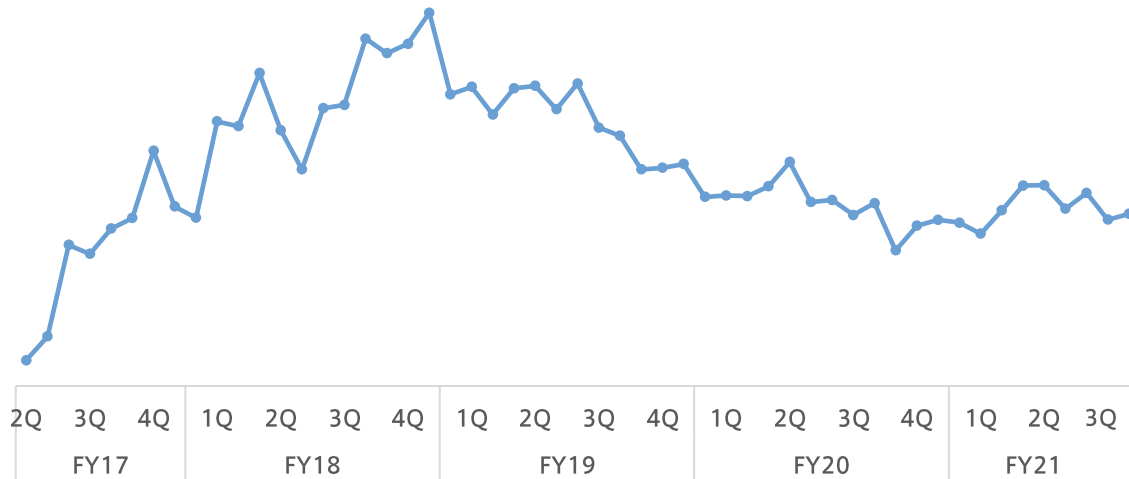


※マンガアプリのMAUの各四半期における平均値を採用

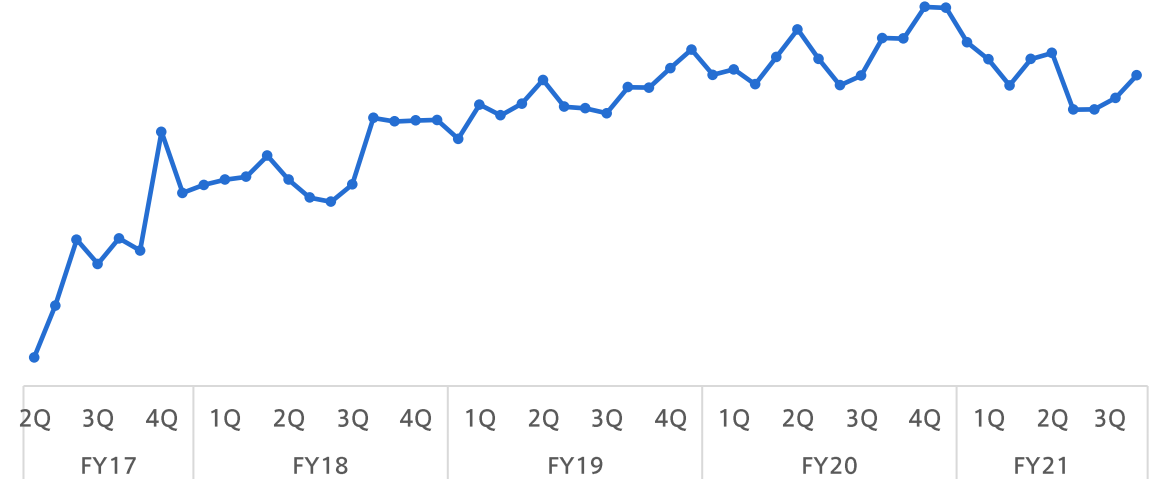
※2017年3月のマンガUP!のARPUを100として指数化。
以降は、新規含む複数アプリのARPUの単純平均値を指数化。

マンガアプリKPIの推移

広告ARPU (指数化)



課金ARPU (指数化)



- 前期4Qを底に回復傾向

- 一部アプリにおいて獲得施策の転換により、一時的な低下が生じていたが、3Qでは当該方針の見直しによる効果が現れ、課金ARPUが改善
- 人気作品の連載再開により、一部のアプリでKPIが大きく改善

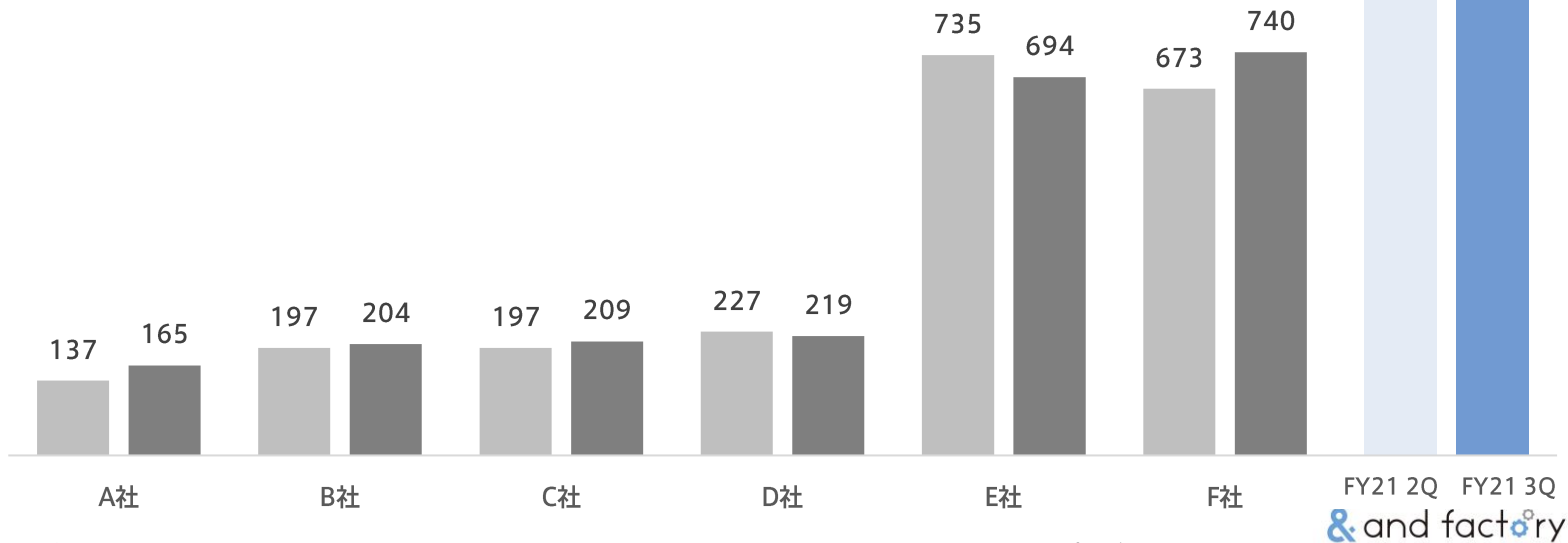
&。マンガアプリKPIの推移

マンガアプリ業界のトップ集団へ

1,000万MAUを突破し堅調に推移

主要マンガアプリのMAU

(万人)



- amütüs
- 集英社
- 日本文芸社
- 小学館 SHOGAKUKAN
- 集英社
- 白泉社 HAKUSENSHA
- SQUARE ENIX.

出所：Nielsen Mobile NetView2021年2月度、2021年5月度/iOS+Android スマートフォンパネル/アプリデータ
 ※and factoryのみ当社集計、四半期平均値を使用

3. IoT事業

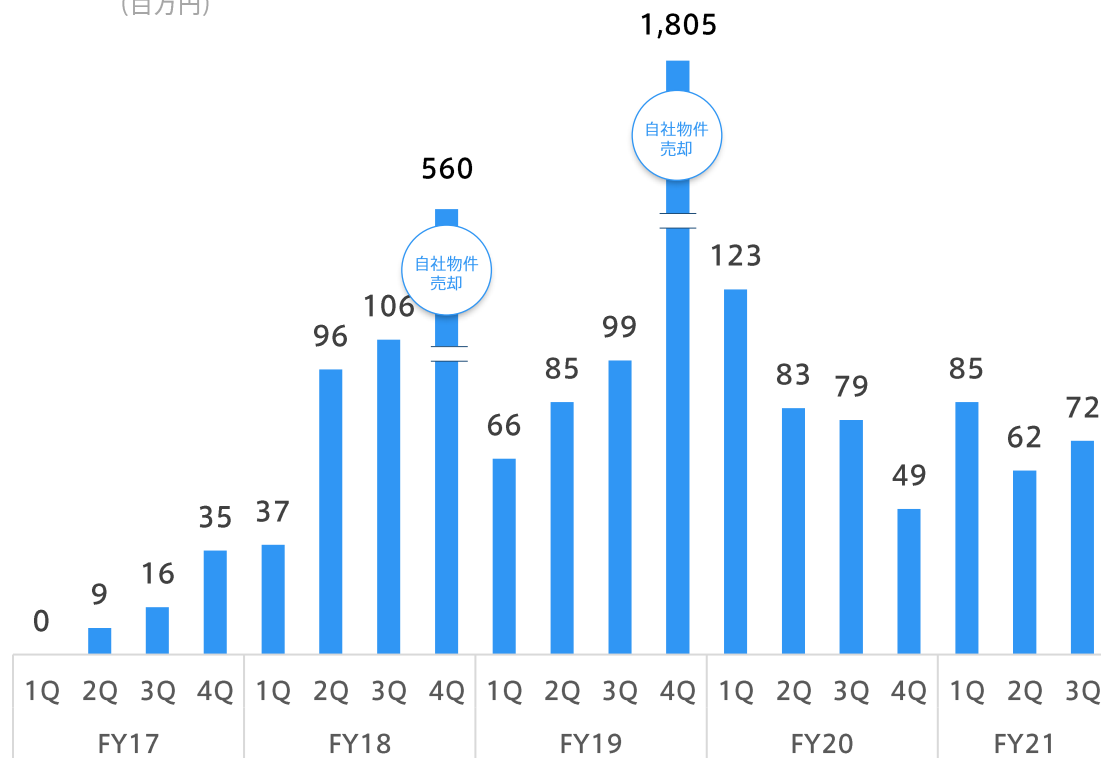


&。売上高/営業利益推移（四半期）

- &AND HOSTELにおいて稼働率が首都圏を中心に回復傾向
- 休業中の店舗については緊急事態宣言の再延長や状況を鑑み休業継続
- 自社開発物件の売却は進捗無し、4Q以降で変動があった場合は速やかに開示予定

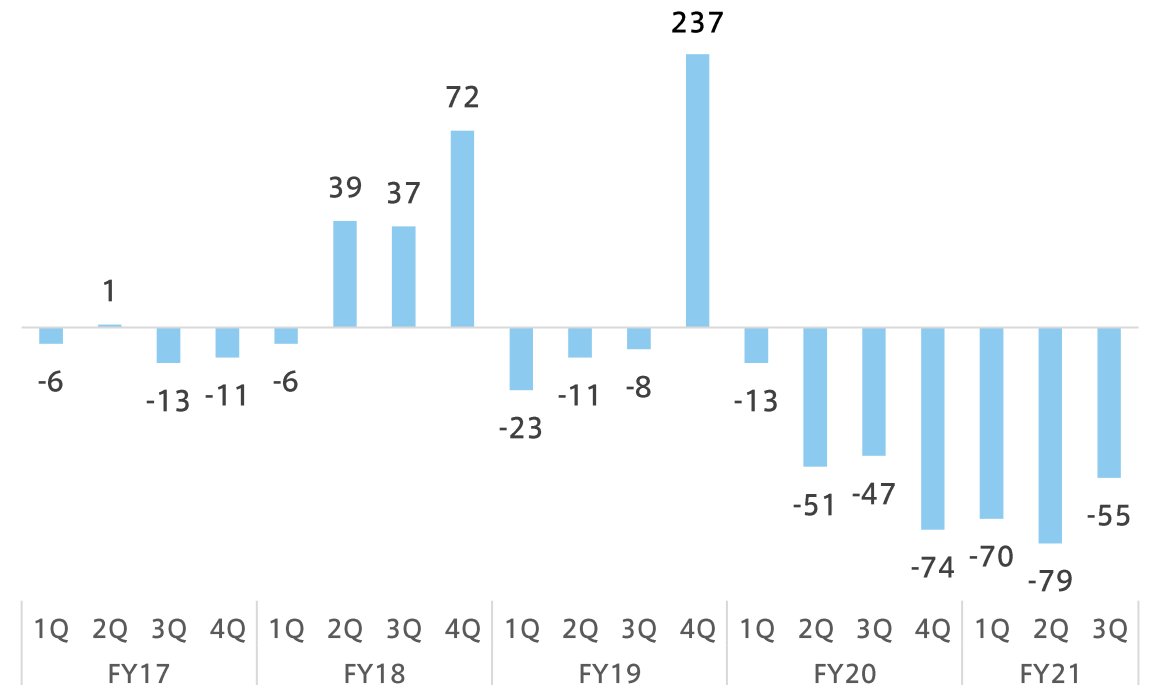
売上高

(百万円)



営業利益

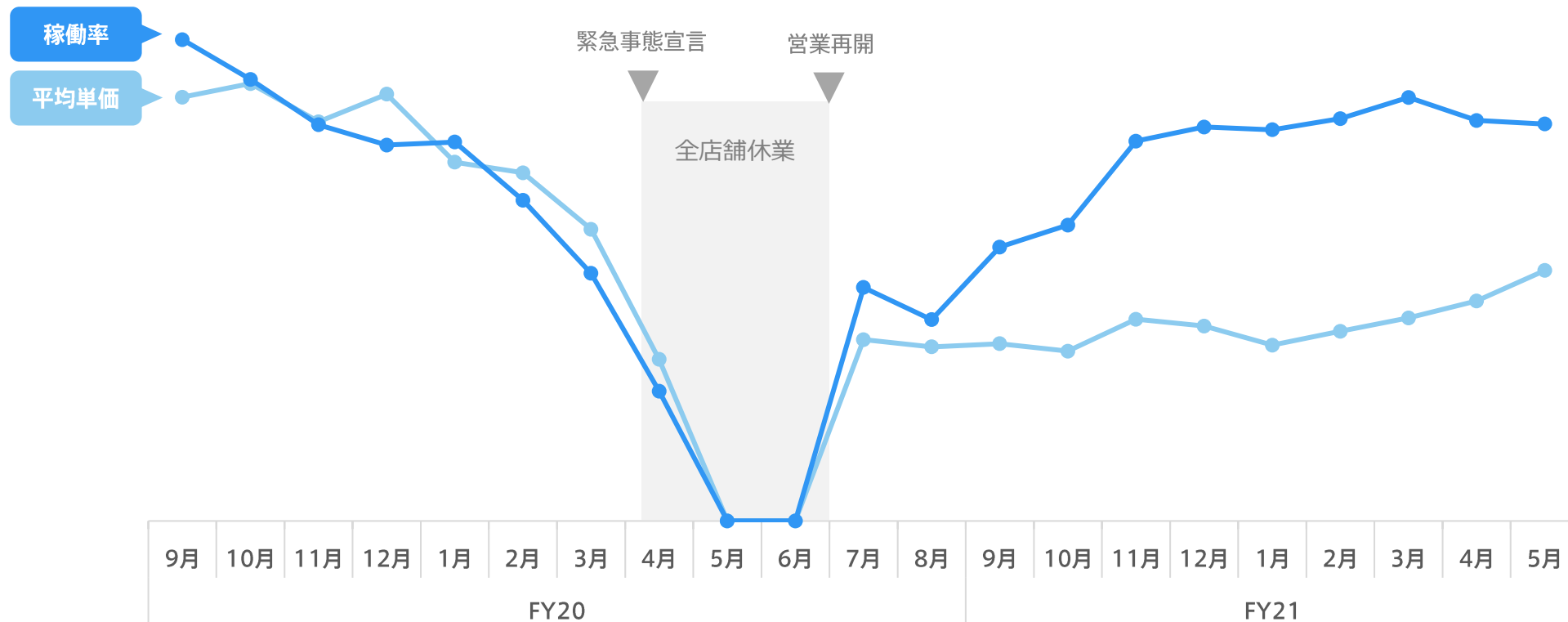
(百万円)



& AND HOSTELの稼働状況

- 2020年10月より一部店舗を短期的に休業（東京1店舗、大阪2店舗）
- 直近では東京を中心に稼働率は回復傾向、コロナ前の稼働率に迫る
- 平均単価も緩やかに上昇傾向

全店舗平均稼働率・客室単価推移（休業店舗除く）



5. Appendix



& BS増減比較

単位：百万円	2020年8月期末	2021年8月期3Q末	増減比較 (前期末比)
流動資産	5,661	4,833	-827
└現金及び預金	1,028	823	-204
固定資産	681	682	0
資産合計	6,343	5,516	-827
流動負債	1,858	1,502	-355
固定負債	3,036	2,832	-203
負債合計	4,894	4,335	-558
└(有利子負債)	3,812	3,590	-221
資本金	549	549	0
資本剰余金	548	548	0
利益剰余金	351	82	-268
自己株式	0	0	0
純資産合計	1,449	1,181	-268

単位：百万円	2020年8月期3Q	2021年8月期3Q	前年同期比	2021年8月期 予想
売上高	2,217	2,247	101.4%	3,050
└売上高成長率	44.8%	1.4%	—	3.5%
└APP事業	1,872	2,027	108.3%	—
└IoT事業	286	220	76.8%	—
└その他事業	58	0	—	—
営業利益(又は損失)	-45	-136	—	-90
└営業利益率	—	—	—	—
経常利益(又は損失)	-88	-247	—	-253
└経常利益率	—	—	—	—
四半期(当期)純利益(又は損失)	-101	-268	—	-540
四半期(当期)純利益率	—	—	—	—

※第3四半期会計期間より、「Smartphone APP事業」の事業領域を見直し、Smartphoneに限定しない幅広いAPPサービスの提供を行うための組織変更を行いました。これに伴い、従来の「Smartphone APP事業」は「APP事業」にセグメント名称を変更しております。また、APP事業に関連するインターネット広告の代理サービス事業を、APP事業で管掌する組織変更を行いました。なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報については、変更後の名称及び区分方法により作成したものを記載しております。

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。